

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援 たいようのはな

公表日 8年3月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	狭さは感じるが、人数が多い時には2部屋使用したり屋外活動をメインにしている 人数や状況に応じて2階を使用するなどしている 一階の部屋で子ども達が別れてる場合は他のスタッフの動きや何処にいるかを把握しながらスタッフ同士で声掛けをしている。	天候に左右されず、屋外活動をメインにすることを継続していく 一階のスペースの壁がなくなるともっと広く使用できると思う 子ども達に背を向けず視野を広く持ち子どもの動きをしっかりと目で追いながら支援をしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	サービス提供時間からは人数が揃うようにしている 状況に応じてどの児童につくか考えている スタッフ同士で「ここにいますね!」「ここ、しますね!」と声掛けをしながら支援をしている。	送迎に職員が多く出してしまう場合があるので、事前準備を習慣化していく 固定の職員にならないようにしていきたい 1人で対応できない場合は他のスタッフが来てから動いている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	職員の立ち位置を工夫し、すぐ子供に声をかけられるようにしている 整理整頓できる場所は気がけて片付けている できていなかった支援をしている際に気になる所があれば意見をだし危険な所は直ぐに変更したりと安全に子ども達が過ごせるようにしている。	狭さは変えられないが、逆に子どもや職員の動きがわかりやすくなっている 視界にさまざまな物が入る環境となっている なるべく物を減らしたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	利用児童に応じた遊具などが提供できている 毎日の清掃 児童が使用する場所はアルコール消毒で清潔を保っていた 朝、掃除をしている	生活空間に狭さは感じるが、それが逆にわかりやすい空間になっている。 畳にへこむ箇所がある その日に掃除まで終われるようにしたい 気になる所があれば掃除をし子ども達が快適に過ごせるようにしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	部屋を開けたりバーテーションを使用している 1階に2部屋、2階に1部屋あるため臨機応変に対応できる ついたてなどを使用している	バーテーションを利用しているが完全個室は他の子が屋外に行かないと難しい。 クールダウン部屋や空間があるとよりいい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	研修や支援者会議に参加できなかった。職員は、紙媒体で閲覧できるようにしている。 会議を開いている できていなかった 毎日、仕事終わりに自分のできてなかった所やこうしておけば良かったことを振り返っている。	全員が閲覧できるように、声をかけるか、全員が閲覧できるまでに時間がかかり支援に時差が出てしまう。 日々に追われ雑談程度にしかできていなかった。 15分程度でも情報共有の場を設けていきたい 振り返った事で同じ事を繰り返さず仕事をやっていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	回答期間を長めに設け、全保護者に回答を依頼している。 モニタリングや何か児童に変化があれば電話を入れている 私はできていなかった 保護者向け評価表を把握できていない。	把握する機会は設けているが、理由が書かれていないため、どう改善すればいいのか、改善点を見つけることが難しい。 アセスメントやモニタリングの内容を把握していきたい 把握できるように資料があれば目を通していただければいい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	代表が個人面談も行い、一人ひとりの不安を飲むようにしている 会議を開いている 職種会議やスタッフ同士での意見が言える機会がある。	業務内容や課題と職員の不安定に大きな差がある時、そこをどう埋めていくべきかを課題としている ミーティングなどほぼ参加できていなかった ので、できるだけ参加していきたい スタッフ同士での会議があり意見が言えるので助かっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	自身が理解できていない。 監査で指摘を受けた内容を会議にて共有している。 外部評価はあっているのか把握できていません。	どのような改善点や課題があるのか、職員で全員で話し合うことが難しい。 どのような評価をうけているのか確認していきたい 把握出来るのであれば把握しておきたい。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	利用児童の能力や特性を生かすこととどうアウトドアにつなげていくかを常に試行錯誤し、現場スタッフと話し合っている。定期的に研修へ参加している 確保されています。	アウトドアと職員研修に温度差があり、そこをどう埋めていくかが課題である どのような研修があっているかも把握できていませんでした。 研修などあるので何かあれば参考に出来ている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	議事録などで職員全員が把握できるようにしている。 されています。	支援者会議など、職員全員の把握が課題。 過案をたて計画的に進めれるよう努めたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	事業所でできていることを保護者に適切に伝え、また、家庭での困り感など職員と共有し支援を考える 会議を開いている 作成されています。	話し合う職員が同じになってしまい、支援者会議に出ていない職員と支援内容についての疑問点などがずれて出てくる場合がある 支援計画に基づいて支援できるよう計画書を確認していく 作成されている中でスタッフも把握し動けるようにしていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	なるべく支援に関わる職員みんなで話し合うようにしている。 会議を開いている。 行われています。	支援に関わる職員と話し合う時間が少なかったりする。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	課題や難しい点があれば、その都度話し合ったり伝えたりしている 定期的に計画書に目を通している 計画に沿って支援をしています。	支援者会議を行う際に、期間が空いてしまう場合がある 確認できていない部分が多かった。 どうだったかな？と思う事があればスタッフに聞いたり計画書を見直したりしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	現場職員が工夫して取り組むことができ共有することができている。 確認しています。	共有した情報について、職員性の確認に時間を要する
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	なるべく家族とコミュニケーションを取るようになっている。 移行支援、地域支援、地域連携などがまだ、ないです。	児童発達支援の場合、送迎を保育園になるため、保護者に話すのが電話やメールになってしまうので、直接会って話す機会が少ない、確認していきたい 関わりがないので未知の世界ですが関わる事があれば参加してみたいです。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	週2回研修の時間を設けている 会議を開いている 私はできていなかった 計画書を立て行っている。	活動のプログラムと職場での方針がズレが生じている場合などの修正を話し合う時間が少なかったり、短かったりする 私も一緒に考えていきたい ギリギリに計画書を書く事が多いので早めに書くようにする。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	戸外活動がメインになるようにしている 他職員と話し合って活動を変化させている Instagramや色んなもので検索し、同じにならないように変えていっている。	雨、天地などの活動が、どうしても屋内のことが多くなってしまう。 雨の日でもできる遊びなどを模索していきたい 感覚の土台を築いていけるよう感覚系も取り入れていきたい 同じにならないように行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	その日の体調や気分によって左右されやすい年齢なので利用児童のペースに合わせて十分に配慮している。	職員によって一環した対応と言うのが難しさを感じる時がある 選択制を再度取り入れていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼でその日の活動を伝え把握するようにしている 支援前に流れの確認、特に注意しておく児童についてなどを話し合っている 支援をするなかでスタッフ同士で役割分担を決めている。	立案職員が休みの場合、その職員以外と職員との情報共有が難しい時がある 前日には確認する 決めていても思い通りに行かないので臨機応変に行うようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	なるべくその日に情報共有を行うようにしている 気になる事があれば共有している。	情報共有を行った際に、その場にいる職員だけになってしまう。 その日にはできていない 参加していきたい 共有し忘れていることもあるので翌日に伝えてはいるが忘れ物ないようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	課題となる行動があった際や良かった点など、その日に情報共有を行う ケースにて記載している	その場にいる職員だけで、情報共有になってしまう その日に記入できるよう気をつける

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングを行い評価反省をご家族や職人としている モニタリングは行ったことがない。	職員全員が共有できていないこともある
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	現場の職員が入れない際は聞き取りを行い、適切な情報を伝えるようにしている	なるべく現場の職員も一緒に会議に参加できたほうがいいと思うが、送迎などで難しい場合が多い 把握していきたい 子どもの状況をしっかりとみていけるようにする。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	保育所等訪問は積極的に行っている。	連携はできているが、全体で話し合う機会は少ない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保育所等訪問を積極的に取り入れてい。送迎時、保育所等訪問にて情報共有を図っている	全体で集まって話す機会が少ない。もっとこまめに行くと、情報共有などが進み、より良い支援にもっとつながると思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	相談支援員さんとしっかり連絡を取ることができている。 行った事がない	情報共有等、各小学校によって差がある
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	0	放課後とデイサービスでは、外部講師などの受講があるが、児童発達支援は少ない。 スーパーバイズを聞いた事がないです	児童発達支援の視点で助言や研修など進めることが少ない。 把握していきたい 研修を受けれる時があればいいですね。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	交流があるが、地元の児童とは秋祭りの時など回数に限られている。	地域と交流する機会はあるが、児童クラブなど限られたところは少ない 秋祭りなどのイベントを開いている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時など良かった点などポジティブなことを伝えるようにしている 何かあれば電話、また送迎時に情報共有している	保護者によっては、連絡が直ぐにはつきづらい場合もある 保護者との信頼関係も築いていきたい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	家族で参加できるイベントなどを催している 親子イベントを開いている 私はできていなかった 家族支援を行ったことはない。	児童発達支援の保護者がイベントなどの参加が低い。
保護	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	保護者にわかりやすいように説明されている	アウトドアについての説明の難しさや保護者によって温度差がある
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に、保護者面談を行っている	まだうまく話せない児童や保護者とのギャップがある時など支援方法など難しさを感じ 情報共有していきたい
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	計画書をもとにわかりやすく説明をしている。	ご家庭での利用児童の仕方と、保育所での利用児童の姿や支援内容について差がある場合など難しさを感じる
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者の悩みなどは、なるべくその日のうちに時間をあけずに話を聞くようにしている	保護者の仕事時間によって、時差が生まれたり翌日になる場合がある 一緒に共有し助言できることは伝えていきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	月に1回保護者の交流会を持っている 親子イベントを開いている 私はできていなかった	交流会がワンパターンのなっているため、幅広く参加できるような会にしていきたい

者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があった際にはなるべくすぐに対応するようにしている 自分で対応できない場合は電話をかけて聞いたり、対応している。	時差が生まれてしまう場合がある 全体で考え対応できるようにしていきたい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	インスタで毎日の活動内容と写真を投稿している SNSなどを活用し、活動内容などをこまめに発信している	できていない日もあるから毎日できるようにしたい 活動内容をこまめに知らせていても、伝わらない場合も多くある。 SNSなど苦手で使い方がわからないため、得意な職員が担当している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	職員同士でも、問題点が上がればすぐに対応している。 シュレッターにかける 個人情報には外に持ち歩かないようにしている。	個人情報に対する職員の意識を同じにしておくこと、個人情報に対してこまめに話し合いがあった方がよい。 個人情報は特に気を付ける
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	どのようにしたら伝わりやすいのかを常に話し合っている	なるべく難しい問題などは直接お会いして話したほうが良いと思うが、送迎先が保育園の場合は電話になってしまう 適切な方法を考えていきたい
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	秋祭りなどを行い、地域の方もオープンに参加できるようになっている	地域住民の方にも参加していただきたいが、事業所のそばの方々にも、日々の活動内容を知っていただく機会を設けていきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	定期的な研修実践を行っている 定期的に研修を行っている	研修に参加する職員に限られている。 勤務状況により参加できないため、報告書などで把握していきたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的な訓練と消防署などをお願いして消防士さんからお話を聞いたりしている。 特になし 私はできていなかった 特になし	曜日によっては参加できない児童もいるので、その部分を改善していきたい 特になし 参加していきたい いつ何が起きるか分からないので実践的に訓練を行いました。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	服薬やてんかんに関しては職員で共有している。 確認しています	情報共有に関して職員に差がある 大事なことなので把握していきたい
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	食物アレルギーの児童はないが、給食の提供もしているため細心の注意を払っている アレルギーは特に気を付けている アレルギーの子を対応した事がそう言う子ども達の研修も行いました。	食物アレルギーの利用児童がいないが、給食など提供する際など、食べ物の大きさなど職員全員共通理解をしていきたい 今後も留意していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	職員研修を開き、情報共有を行なっている。	研修曜日によって参加できる職員に限りがあったり、紙媒体の閲覧に時間がかかったり 対応に時差が生まれてしまう
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	職員で共有できていても家族への周知は電話のみとなっている。	保護者にもわかりやすく、説明できる時間を作る
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事例検討会などを行い、職員みんなで考える	その研修によって参加できる職員限られてしまう。 できるだけその日に記入するようにする
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	職員でも定期的に研修を行う 定期的に研修を開いている	事例検討会を積極的に取り入れたほうがわかりやすく、現実的である。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	組織では、研修を行いどのような場合、身体拘束必要とするのかは話し合いができています	計画書に記載ができていないが、予測される先には全員で話し合い迅速に対応を行う 管理者などが保護者の方と話をした際に伝達していただいている。